

「松陵の丘つながるプロジェクト」

松陵市民センター×泉区中央市民センター

1 事業概要

松陵地域では地域の高齢化とともに集会所等で行われる「サロン」の重要性が増しています。しかし、地域活動に従事する人材は少なく、サロン担当者の負担増や人材不足も指摘されています。市民センターで松陵地域の現状を確認したところ、各町内会サロン団体同士の横のつながりがほとんどなく、

令和3年度 松陵市民センター主催事業
松陵の丘つながるプロジェクト

コロナ禍以降は特に情報交換の機会も減少していることや、負担の重さから次世代を担う人材がいないことが分かりました。そこで本事業では、担当者の情報交換や研修の機会を継続して提供することにより、松陵・向陽台地域にゆかりのある方々が集まり、交流を楽しみながら地域の活性化について考えることを目指しています。

2 今年度の活動

地域活動を行っている方々にお集まりいただき、サロン活動におけるニーズを知るために地域情報や問題の共有化を行いました。緊急事態宣言発出に伴い9月と10月は書面での情報交換・共有を行いました。受講生のみなさんからご意見や情報を寄せていただきながら、コロナによる活動の制限がある中でも地域活動継続のためにできることを話し合い、今年度は相互の活動の情報交換となるような刊行物を発行することになりました。



また、受講生同士が話し合いを重ねることが自然と情報交換の機会となり、地域でカフェ活動をしているサロンが高齢者向けの軽体操を行う団体に講師をお願いする形で事業を共催するなど、これまでの活動を発展させたサロンもありました。

3 成果と課題

地域の活動団体が一堂に会し、話し合う場を提供できたことは、地域活動団体の横のつながりづくりの一助になったと考えています。ただし、関係性の構築は単年度で成し得るものではなく、継続してその機会を設ける必要があると考えています。地域団体と市民センターが協働することで、継続的な機会の提供と活動の幅を広げられるような働きかけができると考えています。



4 今後の展望



今後は地域の情報共有化と地域活動を主催する人たちの「横のつながり」を深めるために、それぞれの団体の活動をまとめたパンフレットを作成・地域で活用する予定です。また、今年度は松陵地区の団体が講座の核となっていました。来年度以降は、隣接する地域の団体とも情報交換の場を設け、事業を展開していきます。